

各管区警察局広域調整部長
警視庁生活安全部長
警視庁地域部長 殿
警視庁刑事部長
各道府県警察（方面）本部長

原 議 保 存 期 間 3 年 平 成 2 4 年 1 2 月 3 1 日 まで 保 存 警察庁丁生企発第240号、丁地発第79号 丁刑企発第187号、丁捜一発第42号 丁鑑発第583号 平 成 2 1 年 6 月 2 5 日 警察庁生活安全局生活安全企画課長 警察庁生活安全局地域課長 警察庁刑事局刑事企画課長 警察庁刑事局捜査第一課長 警察庁刑事局犯罪鑑識官

電車内における痴漢事犯への対応について

電車内における痴漢事犯は、被害者にとって深刻な被害を生ずる悪質な犯罪行為である一方、目撃者の確保が困難であるなど、人的証拠や物的証拠に乏しく、事実の認定については、被害者の供述等により行われることが多い。加えて、本年4月14日、電車内における強制わいせつ事件につき、最高裁判所第三小法廷において、被害者供述の信用性が否定され、被告人に対し、無罪判決が言い渡された。

これらを踏まえ、下記の諸点に留意し、痴漢事犯の適正捜査と防止対策の推進に努められたい。

なお、「電車内における痴漢事犯の適正捜査推進について」（平成17年11月10日付け警察庁丁生企発第340号、丁地発第176号、丁刑企発第251号、丁捜一発第131号、丁鑑発第1004号）は、廃止する。

記

1 電車内における痴漢事犯捜査上の一般的留意事項

(1) 目撃者等の確保

被害者、被疑者の供述のみでは、事後の立証に困難を来す場合があることから、訴え出のあった際には、早期臨場に心がけ、可能な限り目撃者や逮捕協力者の確保に努めること。

(2) 実況見分等証拠保全の徹底

犯行状況を再現した実況見分は、被害者の記憶が鮮明なうちに行う必要があることから、可能な限りダミー人形等を活用するなどして、早期に実施するとともに、被疑者・被害者の着衣や所持品を撮影するなど、証拠保全を徹底すること。

(3) 供述の裏付け捜査の徹底

ア 被害者や目撃者等の供述調書を作成する際には、乗車位置、混雑度合のほか、特に、被疑者を特定した理由、具体的な被害状況等を明らかにしておくとともに、供述内容の裏付け捜査を徹底すること。

イ 被害者の事情聴取に当たっては、「女性・子どもを守る施策実施要綱の制定について」（平成11年12月16日付け、警察庁乙生発第16号、乙官発第39号、乙刑発第13号）に従い可能な限り、被害者の要望に添った性別の警察官が対応するなど、被害者の立場に立った的確な支援を行い、その精神的負担の軽減に努めること。

ウ 目撃者や客観的証拠がなく、被疑者が否認している事件の捜査に際しては、特に、被害者の供述内容について、供述の変遷、他の証拠との矛盾、経験則から見た不自然・不合理などを徹底して吟味し、立件に当たっては、供述の信用性に疑いを持たれるおそれの解消を図ること。

(4) 客観的証拠の収集

被害者の供述を裏付ける証拠として、微物（DNA型鑑定の対象となる資料、繊維片）鑑定が有効であることから、早期に被疑者の手指から微物採取を行い、被害者の分泌物等の有無についての鑑定（DNA型鑑定）や着衣繊維の異同識別鑑定を活用するほか、事案の具体的態様に応じ、被害者の身体等への被疑者の分泌物等の付着の有無についての鑑定の実施を検討するなど、科学的、合理的な捜査を積極的に推進し、客観的証拠の収集に努めること。

なお、各都道府県警察の体制や実情に応じ、微物採取に係る資機材を整備して必要な部署等へ配付するとともに、微物採取に従事する警察官への指導教養や現場臨場警察官への証拠保全措置に関する教養に努めること。

(5) 留置の要否の判断

捜査幹部及び捜査主任官は、事案の内容を十分に把握し、逃亡、罪証隠滅、通謀等捜査上の支障の有無等をよく吟味して、留置の要否の判断の適切を期すこと。

2 検挙対策

痴漢被害が多発する路線や時間帯等を分析の上、捜査員の集中運用により検挙体制を強化するなど、痴漢事件を現行犯的に検挙する施策を推進すること。

3 関係機関との連携強化

(1) 鉄道事業者に対し、次の点について協力要請するなど、捜査活動への協力体制の構築を図ること。

ア 事犯発生時の駅員等による迅速な通報

イ 被疑者や目撃者等の現場における確保

ウ 事犯発生時において目撃者や逮捕協力者を留め置きできない場合の人定・連絡先等の確認

エ 事犯発生後に当該電車での目撃者を確保するための車内放送の実施

(2) 平素から自治体や鉄道事業者等と連携し、痴漢被害の防止について理解・協力を求める車内放送、駅ホーム等における防犯カメラの整備、女性専用車両の効果的配置等、痴漢防止対策の更なる実施について働きかけるとともに、協働して痴漢被害防止に係るキャンペーン等の広報・啓発活動等を推進すること。